

2020/09/11 オンライン授業のためのFDセミナー

東洋史概説 I

楯身智志(文学部史学科)

東洋史概説 I の概要

■ 1年時より選択可能な選択必修科目

■ 中国を中心とする東アジアの歴史を概説

(前6,000年～1400年=古代文明～モンゴル帝国)

■ 高校世界史の復習+α

■ 受講者数108名 (三年2名、二年6名、一年100名)

第1回	ガイダンス	
第2回	殷・周：甲骨・金文の世界 (教科書p43-44)	
第3回	春秋・戦国時代：覇者と諸王と遊説家たち (教科書p44-46)) ②
第4回	秦・楚漢：出土文字資料から見る統一政策の実態 (教科書p46-47)) ③
第5回	前漢：「郡国制」の展開と儒教「国教化」 (教科書p48-49)) ④
第6回	新・後漢：「儒教国家」と政治混乱と「名士」社会 (教科書p49-50)) ⑤
第7回	三国時代・西晋：「名士」社会から貴族制へ (教科書p61-62)) ⑥
第8回	五胡十六国時代・南北朝：北方遊牧民の進入と貴族社会 (教科書p62)) ⑦
第9回	隋・唐1：拓跋国家と關隴集團 (教科書p63-64)) ⑧
第10回	唐2・五代十国時代：安史の乱と兩税法 (教科書p64-66,68)) ⑨
第11回	北宋：士大夫社会と遼・西夏 (教科書p69-72,73-74)) ⑩
第12回	金・南宋：靖康の変と岳飛・秦檜 (教科書p70,74)) ⑪
第13回	モンゴル帝国1：チンギス=ハンの覇道とオゴタイの苦悩 (教科書p74-75)) ⑫
第14回	モンゴル帝国2：帝国の分裂 (教科書p75-76))
第15回	総括と試験)

授業の方法

■ 教材

①教科書 「世界の歴史」編集委員会編『新もういちど読む山川世界史』

(山川出版社、2017年)



②PDF化したパワーポイントファイル(ppt→pdf)

③PDF化したレジюмеファイル(doc→pdf)

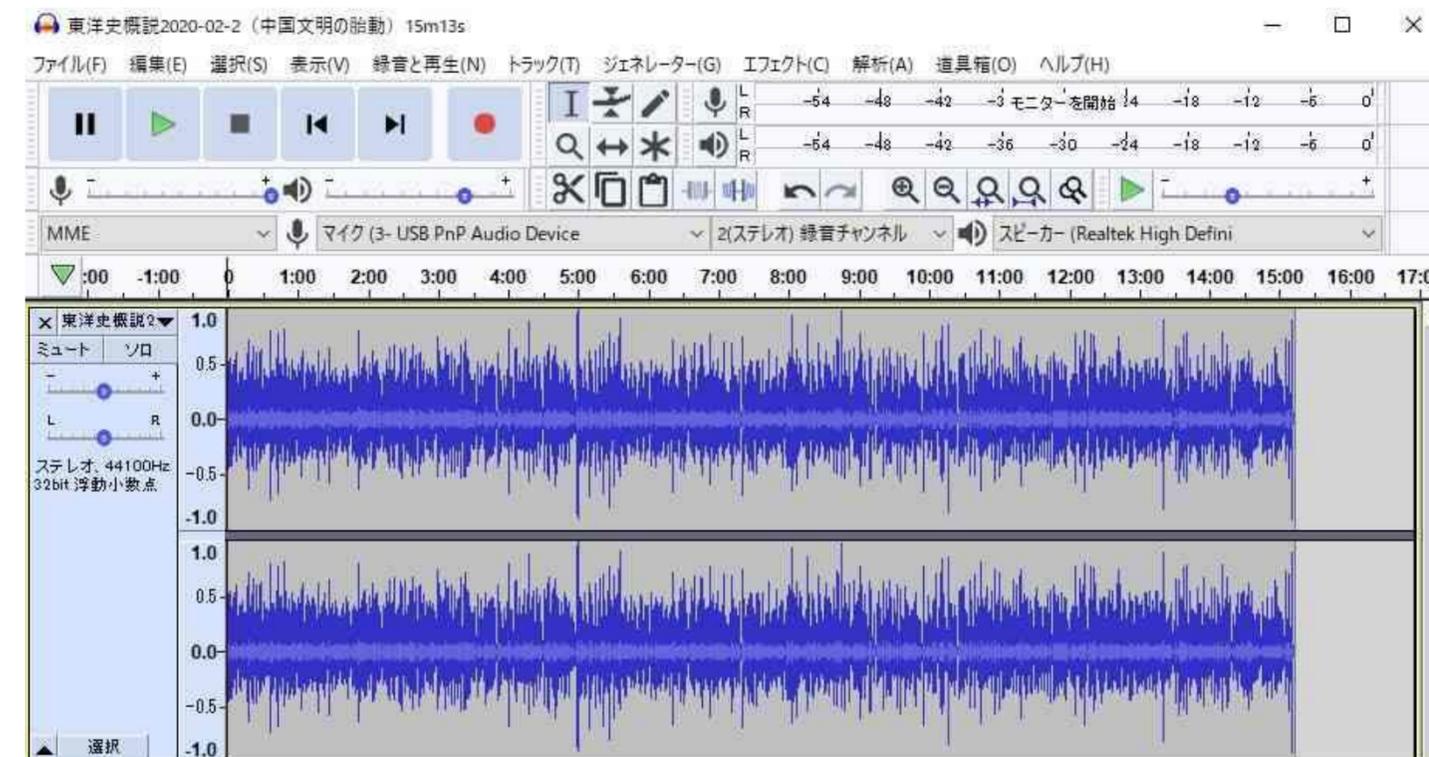
④音声ファイル(mp3)

20分前後ごとにファイルを区切った

(フリーソフトAudacityで録音、音声編集)



<https://www.audacityteam.org>



授業の方法

■ 方法

①レジюмеファイル(pdf)を印刷して手元に置かせる

*ただしプリンタ所持者は約7割

②PC上にパワポファイル(pdf)を表示させる

③音声ファイルを再生・視聴させる

指示に従ってパワポファイルのページを送らせる

④必要に応じてレジюмеなどにメモをとらせる



→再生・視聴



→PCに表示



プレゼン



レジюме

授業の方法

■ レジюмеファイル

- ① 毎回、最初のページに扱う時代の年表をつける
- ② 前回の復習から始める
- ③ 穴埋め方式→後期はやらない予定(あまり意味がないため)
- ④ 講義中に使った参考資料を末尾に一覧にする

第5回 後漢・三国：豪族・外戚・宦官と周辺諸国家

本日の学習範囲 (教科書 p302-303)

西暦	出来事	備考
17	新 呂母の乱 (のちに赤眉軍へ)	
20	緑林軍が挙兵	
22	南陽の劉演・劉秀が挙兵→緑林軍へ参加	
23	王莽誅殺される (= 新滅亡)	
25	後漢 後漢建国 (~220)	
	劉秀が独立、皇帝に即位 (= 光武帝)	
36	光武帝が中国を統一	匈奴分裂、高句麗成立 倭の奴国の使者、 印綬をうける。
73	班超が西域へ派遣される	班固が「漢書」を編纂
79	白虎観会議開催	
91	班超、西域都護となる	
97	甘英が大秦国へ派遣される	
107	羌族の反乱激化	
166	大秦王安敦の使節、日南郡にいたる	
	第一次党錮の禁	
169	第二次党錮の禁	
184	黄巾の乱	
192	呂布が董卓を暗殺	
208	赤壁の戦い	
220	三 後漢滅び、魏呉蜀の三国分立	邪馬台国女王卑弥呼、 魏に遣使
263	蜀 魏が蜀漢を滅ぼす	
265	魏 魏滅び、晋建国	
280	西 呉滅び、晋が中国を統一 (~316)	
	晋	

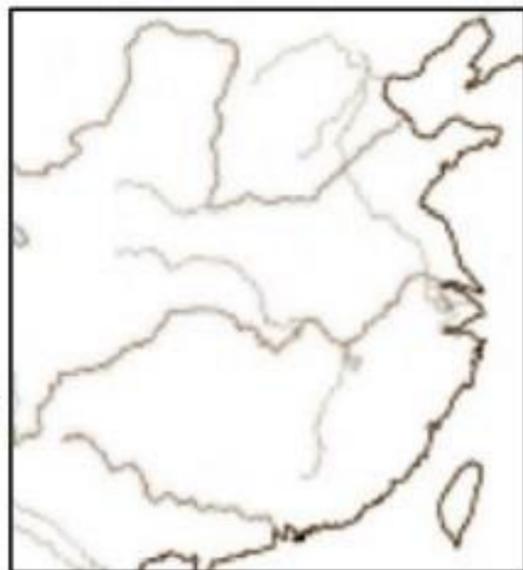
☆復習

- ・前漢における「郡国制」から「実質的郡県制」への展開
異姓諸侯・同姓諸侯による間接支配から中央集権へ
- ・武帝による最盛期現出と豪族の出現
各種対外戦争による領土拡大と財政難対策としての塩・鉄専売
- ・宦官・外戚の台頭と王莽による篡奪と失政
側近集団（内朝）の権力拡大、儒教の政治的利用

1、皇帝権力の確立と西域経営（教科書 p50）

▽両漢交替期の戦乱

- ・王莽が失政を続ける中、各地で反乱発生
→17年、役人に息子を殺された呂母が
琅邪郡の役所を襲撃
→農民反乱として拡大=①
- 20年、南陽郡の農民たちが挙兵=②
- 22年、南陽豪族の劉演・③が挙兵
↓
- 23年、各反乱勢力が長安を陥落させ、王莽を誅殺
↓
- 反乱勢力は権力争いを繰り返す
(豪族 vs 農民、地域間争い、などなど)
- ⇒25年、劉秀が皇帝に即位=④ = ⑤ 成立
*豪族集団と農民集団をうまく味方に引き入れる
↓
- 36年、各地の反乱集団をすべて平定、中国統一を達成
*劉秀に期待されていたこと
ア、⑥
イ、⑦



▽後漢初期の政治（初代光武帝～3代章帝）

- ・引き続き「実質的郡県制」を採用、さらに軍備を縮小して国力回復に努める
→戦乱による人口減少に伴い、軍隊解散や省庁再編を実施
=アに基づいて人々の負担を軽減 ⇒ 皇帝に権力が集中

▼四川…⑧

- 建国者：劉備（位 221-223）
- 歴史：221年、後漢滅亡とともに、劉備が皇帝に即位
*漢王朝の正統な後継者を自称
227年、⑨ (181-234) が北伐（魏へ侵略戦争）
→諸葛亮の病死によって終結
- 特徴：諸葛亮率いる荆州豪族が益州豪族と共存しつつ政権を支える
→諸葛亮死後は衰退

☆三国時代を記録した歴史書=⑩

- 編者：陳寿（233-297）…蜀漢に仕えていたが、滅亡後に西晋に仕える
- 注釈者：裴松之（372-451）…『三国志』本文に注釈をつける
→さまざまな書物を引用し、本文に記されていない情報を補う

▽三国時代の終焉

- ・263年、魏が蜀漢を滅ぼす
→豪族の司馬一族が魏で勢力拡大
↓
- 265年、⑪ が皇帝の位を奪う=魏滅亡、⑫ 成立
↓
- 280年、西晋が呉を滅ぼす

☆本日の講義内容に関する穴埋め問題 10問 *制限時間 30分、受験回数無制限
(一応の回答期限：2020/06/13)

参考文献

- 横山光輝『三国志』全60巻（潮出版社、1971-1987年）
- 今鷹真ほか『正史 三国志』全8巻（筑摩書房、1992-1993年）
- 板野長八『儒教成立史の研究』（岩波書店、1995年）
- 澤田勲『匈奴——古代遊牧国家の興亡』（東方書店、1996年）
- 小竹武夫訳『漢書』全8巻（筑摩書房、1997年）
- 西嶋定生『秦漢帝国——中国古代帝国の興亡』（講談社、1997年）
- M・ドロズニン『聖書の暗号』（新潮社、2002年）
- 川勝義雄『魏晋南北朝』（講談社、2003年）
- 柿沼陽平『劉備と諸葛亮——カネ勘定の『三国志』』（文芸春秋、2018年）
- 東京国立博物館ほか編『特別展 三国志』（美術出版社、2019年）

授業の方法

■ パワポファイル

①レジュメと完全に対応させる

(レジュメを印刷できない学生への配慮)

②なるべく画像を入れる

③ペントラレットを使って地図への書き込みや手書きの図表・文字を入れる

(図表の作成が楽+親しみが出る?)

*Wacom Intuos (¥10,000前後)

<https://www.wacom.com/ja-jp/products/pen-tablets/wacom-intuos>



西暦		出来事	備考
17 20 22 23	新	呂母の乱(のちに赤眉軍へ) 緑林軍が挙兵 南陽の劉演・劉秀が挙兵→緑林軍へ参加 王莽誅殺される(=新滅亡)	
25	後漢	後漢建国(～220) 劉秀が独立、皇帝に即位(=光武帝)	匈奴分裂、高句麗成立 倭の奴国の使者、 印綬をうける
36		光武帝が中国を統一	
73		班超が西域へ派遣される	班固が『漢書』を編纂
79		白虎観会議開催	
91 97		班超、西域都護となる 甘英が大秦国へ派遣される	
107		羌族の反乱激化	
166		大秦王安敦の使節、日南郡にいたる	
169		第一次党錮の禁 第二次党錮の禁	
184		黄巾の乱	
192 208		呂布が董卓を暗殺 赤壁の戦い	
220	三国	後漢滅び、魏呉蜀の三国分立	邪馬台国女王卑弥呼、 魏に遣使
263 265		魏が蜀漢を滅ぼす 魏滅び、晋建国	
280	西晋	呉滅び、晋が中国を統一(～316)	

本日の学習範囲

- 後漢の成立過程
- 後漢の政治と勢力拡大
- 後漢の衰退と豪族の伸長
- 三国時代の展開

1. 皇帝権力の確立と西域経営 (教科書p50)

■ 両漢交替期の戦乱

- 王莽が失政を続ける中、各地で反乱発生

→17年、役人に息子を殺された呂母が琅邪郡の役所を襲撃

→**農民反乱**として拡大=①赤眉の乱

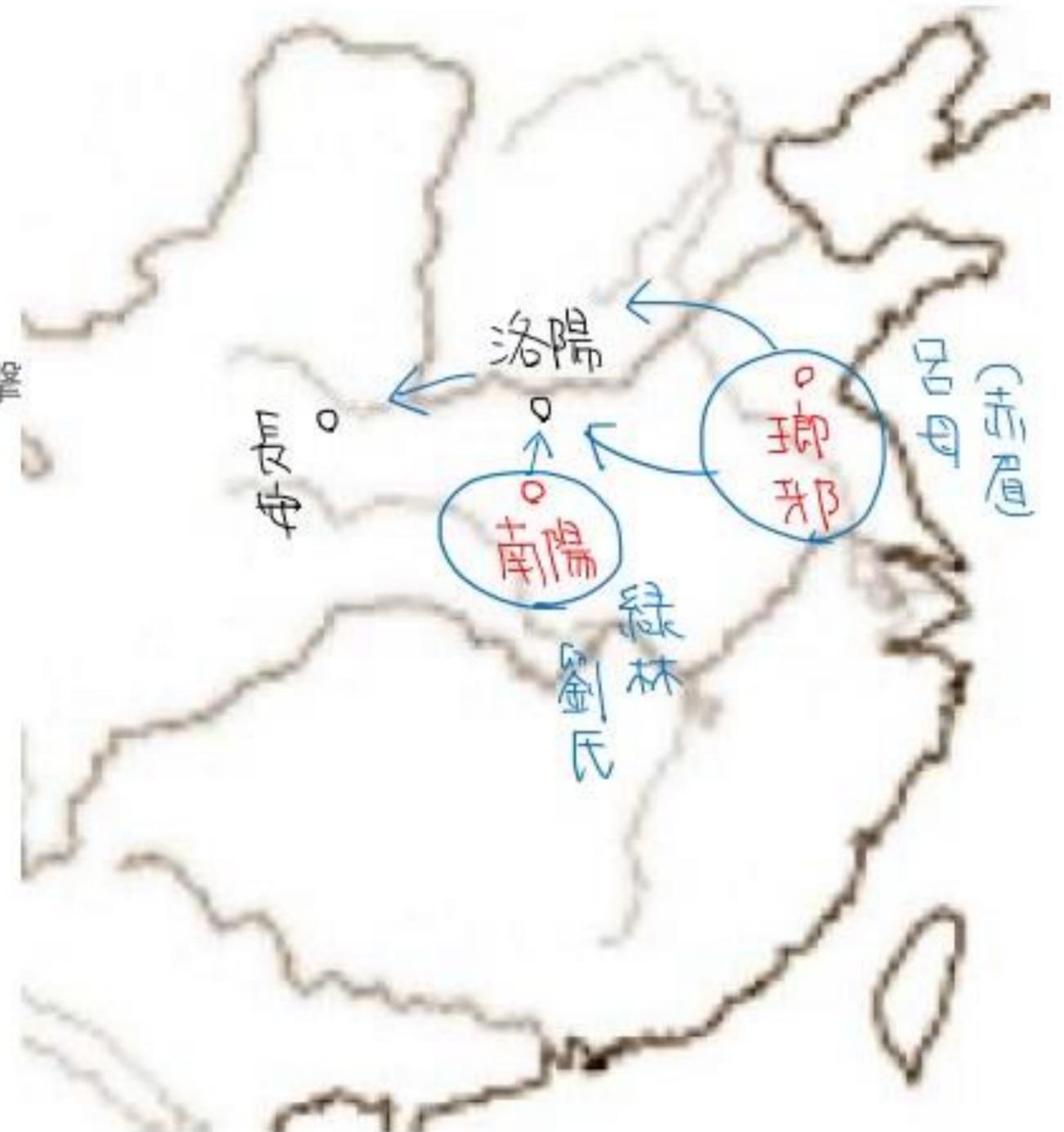
→20年、南陽郡の**農民たち**が挙兵=②緑林軍

→22年、南陽**豪族**の劉演・③劉秀が挙兵

↓

23年、各反乱勢力が長安を陥落させ、王莽を誅殺

= 新滅亡



1. 皇帝権力の確立と西域経営 (教科書p50)

■ 後漢初期の政治 (初代光武帝～3代章帝)

- 引き続き「実質的郡県制」を採用、さらに軍備を縮小して**国力回復**に努める

→ 戦乱による人口減少に伴い、軍隊解散や省庁再編を実施
 = アに基づいて人々の負担を軽減

⇒ **皇帝に権力が集中**

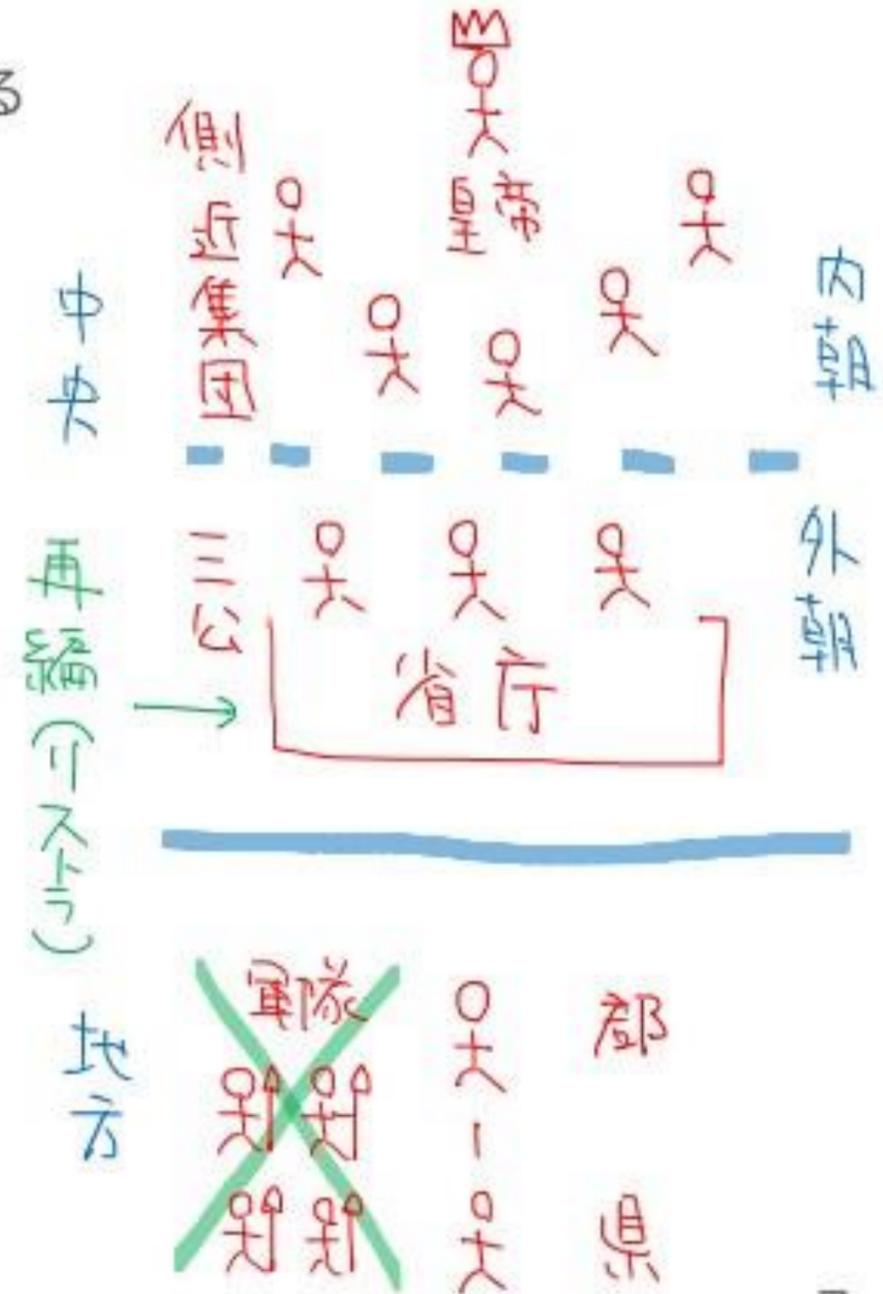
ex. 小さな政府 → 民間に負担

大きな政府 → 政府に負担 ← 後漢

外朝のリストラゲ、
地方の軍隊縮小



皇帝権力のみ
変化なし



2. 外戚・宦官・豪族 (教科書p50)

■ 外戚・宦官と豪族の台頭

- 4代和帝(位88-106)以降、**外戚・宦官の権力争い**が多発
→ 皇帝権力強化+省庁再編

⇒ **側近集団**の勢力拡大(前漢の二の舞)



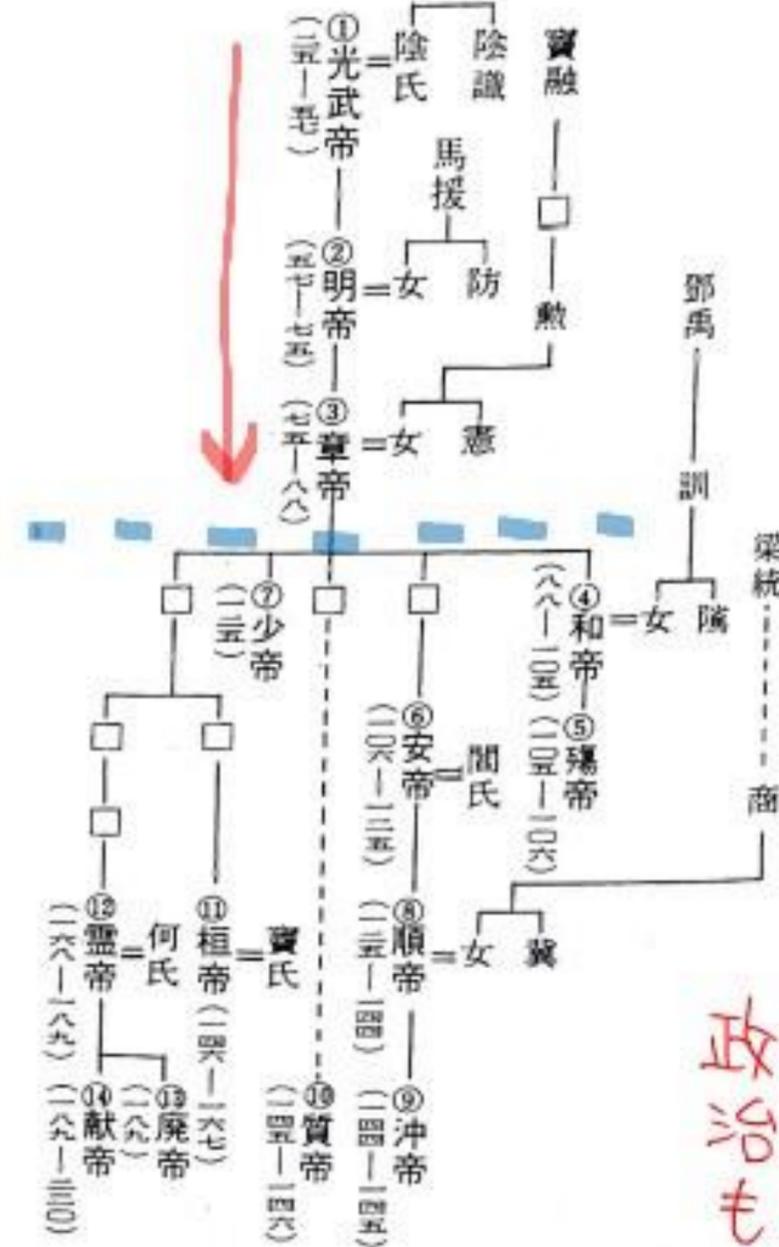
107年以降、**⑬羌族**の反乱激化

→ 同時期に**西域経営も放棄**、対外的な衰退始まる



羌族の反乱の状況→

出典:西嶋1997、川勝2003



↑ 後漢の皇帝系図

政治も混乱
が、乱れと、
皇帝位の継承順

成績評価について

■ 確認テスト

① 毎回(第1回と第12回除く) LMS上で穴埋め式のテストを実施

② 受験回数は無制限

= 回答のためにレジュメやパワーポイントを見返す必要あり
(復習になる)

③ 制限時間は30分

(PCで漢字を打ち込む労力、留学生への配慮など)

④ あらかじめ解答を設定しておけば、自動的に採点してくれる

→ 「部分一致」で複数の解答を設定しておけば、かなり緩く採点してくれる

(LMSハンドブック参照)

質問 1

呂母の起こした反乱は後に拡大し、① と呼ばれるようになった

質問 2

皇帝に即位した劉秀はさまざまな人々の要望を受け入れ、② の解散や省庁の再編を行った

質問 3

班固の編纂した『漢書』について研究した板野長八は、これを③ と呼んだ

質問 4

班超は西域から④ の影響力を排除し、大月氏の軍勢も撃退した

質問 5

後漢の政治が乱れたのは、4代⑤ 以降に皇帝の継承順が混乱したことに原因がある

成績評価について

■ レポート

①学期末にレポートを出題

②授業内容に基づく問題を6問出題

そこから3問選択させ、レポートを作成・提出させる

③学生がどういうテーマに興味を持ったのか、リサーチもできる

成績評価について

■ レポート

○以下から**三つ**選び、それぞれについて講義の内容を踏まえて論じよ。(それぞれ1000字以内)

- ①都市国家から領域国家への変遷過程 41
- ②中央集権体制と地方分権体制のメリットとデメリット 64
- ③豪族や貴族が中国史の中で果たした役割 53
- ④遊牧民が中国の歴史に与えた影響 60
- ⑤両税法制定以前の皇帝支配体制と制定以後の皇帝支配体制との違い 40
- ⑥中国史における統一時代と分裂時代の違い 21

※回答の際には、どの問題を選んだのか、分かるようにしておくこと

提出期間:7/8 14:45~7/31 16:15 (時間は絶対に厳守すること)

良かった点

■ 学生が自分のペースで授業を聞き、学習できた？

- レポートを参照すると、思った以上によくできていた
- 確認テストについては最初の方にいくつか質問やクレームがきたが、
授業の受け方やレポートについてはほとんどなかった

⇒ 学生の受講環境にある程度は配慮して授業を進められた？

悪かった点

■ 学生の学習状況が分からない

- 1年生が多かったということもあって、授業内容に関する質問がほとんどなかった
⇒何が正解で、何が間違っているのか、講師の側も把握できない

- 印刷用のレジюмеは本当に必要なのか？

→どれほどの学生がレジюмеを印刷して利用していたのか？

⇒学生の状況を把握するには、こまめな課題の出題が有効だが、

多人数の講義であるために、なかなか難しい